



菅原 隆文
(よねしる会)

商店街の 活性化対策

質問 中心市街地7つの商店会加盟店388店のうち、空き店舗55店。二ツ井地区では大手スーパーが移転、空き地も目立つ。高齢化する住民のために、大事な社会資本である商店街。自助努力を促すためにも、商店街への新たな活性化対策は。

答弁 空き店舗の活用等に対し、賃借料等の一部を県と市が共同で助成する商業活性化総合支援事業と、商店街などが行うイベント等の活性化事業を支援する商店街活性化対策事業を行っており、能代地区ではこれまで年に2店舗の割合で空き店舗の活用がされているほか、フリーマーケットなど誘客や販売促進につながっている。両制度とも商店街の活性化の一助となるので、二ツ井地区への周知を図りたい。民間によるポイントカード事業では、行政サービスに利用できる仕組みを検討するなど、商店街と一体となって活性化対策を進めていきたい。

魅力ある 観光資源の活用

観光資源の活用

質問 きみまち阪・原生林の七座山・日本一の秋田杉・風の松原・野鳥の小友沼・歴史の里檜山城址周辺など魅力ある観光資源をネットで紹介、ドライブマップの作成等、有機的に宣伝できないか。能代・二ツ井、二つある観光協会のあり方は。

答弁 観光情報は観光パンフレットや市のホームページ等で紹介し、インターネットのブログ「能代でらっ」と情報」ではほぼ毎日、見どころやイベント情報等を全国に発信している。他地域に誇れる観光資源を結びつけ、圏域を一体として巡る旅行コースと農林業などの特徴ある体験を組み合わせた観光企画を磨き上げ、観光施策を強化し誘客促進活動を積極的に展開していきたい。

観光協会は運営の効率化を考慮すると一つにまとまること望ましいが、組織体制の違いもあることから、協働と連携の強化により最大限の効果を上げられることを期待している。

菅原議員のその他の質問事項

・少子化対策（出会いの場の創出）



柳谷 渉
(大河・生々・みどりの会連合)

来るべき冬の 除雪作業は

質問 冬の備えを考えておかなければならない時季になってきた。昨年の豪雪を振り返って、どのような感想（反省）をお持ちか。また、来るべき冬の除雪に対し、どのような考え方、体制で臨むのか。

答弁 市では毎年道路除雪計画を策定し、住民が安全に安心して通行できる冬季道路交通の確保に努めている。ただ、市道すべてを市が除雪するのは困難であり、協働による除排雪の推進



のため、住民、除雪業者、行政の相互支援の体制を構築したい。また、昨年の大雪による雪捨て場の確保の反省も踏まえて、従来どおり公園や緑地を解放する予定であり地域の空地等についてもご協力を得たいと考えている。なお、今年度は万全を期すため除雪費を9月定例会に提案している。

障害者自立支援法 本格実施の影響

質問 10月から障害者自立支援法が本格的に実施されることになっている。身体障害者の補装具給付の仕方が変わるの聞き及んでいるが、どのように変わるのか。

答弁 補装具の定義が明確化され、これまでどおり補装具給付として支給されるものと地域生活支援事業での日常生活用具として給付されるものに分けられるが、給付内容そのものには変わりはない。補装具の利用者負担については、原則として1割の利用者負担をお願いすることになる。日常生活用具については、自立と社会参加を促進するために必要なものであり、施設の利用者負担を含めて、負担の軽減について、市としてどのような支援策が可能なのか検討したい。

柳谷議員のその他の質問事項

・檜山のまちづくり
・住吉町住宅の建てかえ